

# 吉川レポート

発行者：吉川まちづくり自治協議会 吉川地域センター  
 ☎082-429-1879(吉川地域センター)  
 開館時間(原則)月～金：8時30分～12時(利用がある場合を除く)  
 センター：yoshikawa-k@city.higashihiroshima.hiroshima.jp  
 自治協：yoshikawajitikyo@outlook.jp

## 長寿の森で、槌山城合戦を学び・体験

### 3月29日八本松3自治協連携会議主催イベントを開催



【土久岡会長のあいさつで開会】



【天野さんから歴史を学ぶ】

八本松町内の3つの住民自治協議会で組織する連携会議は市教育文化事業団の協力を得て、3月29日吉川長寿の森で、槌山城の歴史を知っていただくためのイベントを、槌山城址・ふもとの長寿の森で開催しました。このイベントは八本松町内に残る史跡に触れていただこうと2年前の曾場ヶ城に続いて2回目です。

当日は、桜が咲き始めの暖かい陽の中、親子の参加者37名、スタッフ24名が参加しました。

イベントは、3自治協を代表して八本松住民協の土久岡会長のあいさつで開会。続いて東広島郷土史研究会の天野浩一郎さんから、安芸国東(ト)西条における鏡山城・曾場ヶ城・槌山城へと続く歴史を踏まえて槌山城の位置づけ、城主大内氏と毛利氏との合戦・落城に至るまでの話を聞きました。

準備体操の後、槌山城址への登山に参加者全員で行いました。標高差200m・往復1時間15分程度の登山ですが、参加者からは「登山道は階段など整備されているものの足元が滑りやすく、曾場ヶ城よりもきつく感じた」との感想が聞かれました。

下山した人から、早めの昼食をとりました。昼食は、3自治協有志が吉川地域センターで朝早くから調製したカレーライス。ご飯は吉川産の米を使用しました。



【カレーライスづくり】



【防具づくり】

休憩の後、参加の子供たちが3グループ(鏡山城・曾場ヶ城・槌山城)に分かれて競う槌山合戦。合戦のための防具などは自治協の役員など



【全滅戦・大將戦・総当たり戦を競う】

が準備しました。全滅戦と大將戦をリーグ形式で争いました。合間には、ドローンを使ってUFOキャッチャーのようにお菓子を吊り上げるゲームに挑戦しました。最後に記念撮影・表彰式を行い解散しました。参加者は長寿の森が整備されていること、イベントなどを行う広さがあることなどに感心していました。桜が多く咲いていれば、なお良かったです。



【子供たちの記念撮影】

4月5日：川そうじ(道路・河川の維持作業)  
 4月8日：小学校入学式  
 4月9日：中学校入学式  
 4月18日：第3回全役員会  
 4月20日：放課後子供教室運営委員会(市)  
 4月22日：R8年度住民自治協議会連絡会議(市)  
 4月23日：八本松町内自治協連絡会議  
 5月17日(日)10時開会：R8年度総会(市)：市等の主催行事

## 吉川自治協令和8年度通常総会を5月17日に開催

### 議案書などは4月27日配布予定

令和7年度の総括と令和8年度事業を審議する第2回全役員会議(兼第4回理事会)を3月28日開催し、総会を5月17日午前10時開会・議案書配布は4月27日から行うことなどを決めました。

### 地域の変化をまずは受け止めて

会議では最初にR7年度の事業結果について、半導体工場を取り巻く変化を地域として受け止め、問題を解決するための取り組みを行ったことを含めた経過を報告しました。

### 住み良い地域社会建設に向けた行動を継続

R8年度事業は、基本的にR7年度をベースに取り組むこととしつつも、地域を取り巻く変化を「明るく住み良い地域社会を建設する」とする自治協設立の目的趣旨に沿って活動を進めていくことを再確認し、議案として提案することとしました。

続いてR8年度から改定となる東広島市地域づくり推進交付金の見直しについて審議しました。この対応のためには自治協予算の組み立てを見直すこととなりますが、R8年度では参加団体への補助方式を可能な範囲で見直していきます。新たに導入される地域支援員制度には、理事会役員を推薦すること、吉川自治協の5ヵ年計画更新の委員会を設置することなどを決めました。

議案書は、4月17日開催の第3回全役員会で再度審議します。

## 戦争死没者・原爆に係る援助活動と吉川の人々

### 第54回吉川史跡保存会を開催



3月6日、10名の参加で保存会を開催しました。令和7年度は終戦・被爆80年の節目となることから、明治以降の戦争に吉川の人々がどうかかわってきたかを学んできました。今回が最終

回で、太平洋戦争・被爆後の関わりについて話し合いました。

被爆後、西条農学校生を中心として組織された「賀北部隊」と、賀茂女学校生が行った救援活動に地域の人々も参加した歴史を確認しました。関係者の手記についても知ることができました。吉川地域出身者の原爆被爆死没者は35名余りおられました。

明治期から始まる徴兵制度によって出兵した人々、軍施設等で労働に従事した若者が体験したことが再び起きないよう行動することが後世の人々に必要なことだと再認識しました。

“吉川レポート”に関するお問い合わせは、吉川まちづくり自治協議会ご連絡下さい。

※文中、吉川自治協は吉川まちづくり自治協議会の略称として使用しています。

# 年度2回目の粗大ごみ回収をしました



【写真左:3月1日、右:3月8日】

3月1日は、燃やせる粗大ごみ回収を本郷区と上中横野区の8名の方に立会をお願いし実施しました。持ち帰っていただけなかった物品として、布団にまぎれた枕、小さい敷物、ゴルフバック内の不用品がありました。

8日は燃やせない粗大ごみの回収を清水原自治会と東郷区の8名の方に立会をお願いして実施しました。持ち帰っていただけなかった物品として、指定袋に入るサイズのプラスチック製品、ガラスを含む調理器具、冷風機、残された電池、さびた刃物などがありました。令和8年度も同様に回収を行います。詳細はこれからご案内します。立会をいただきました皆さんお疲れさまでした。

第38回東広島市  
美術展工芸の部  
入選作品  
作 菅信 賢二  
(戸坂)



## 市社協主催 吉川地区地域懇談会を開催



東広島市社会福祉協議会が主催する地域懇談会が5年ぶりに2月28日吉川地域センターで開催され、吉川在住の地区責任者、民生児童委員、見守りサポーター、子供会育成会、いきがい部会、地区社協など約30名が参加しました。

会では各グループに分かれて、5年間で気になること良かったことと吉川の現状を出し合い、これからの5年間でどんな地域になったらよいか、地域の福祉活

### <今月の句>

ミラノより聞こえて来る冬五輪 則子  
春の園風のめくれる楽譜かな 明美

地域センターで活動する皆さんの作品をロビーに展示しています。展示希望の方も受付けています。

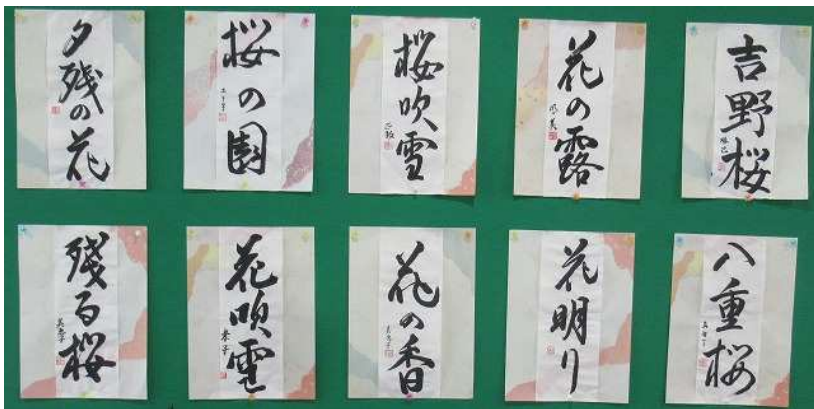
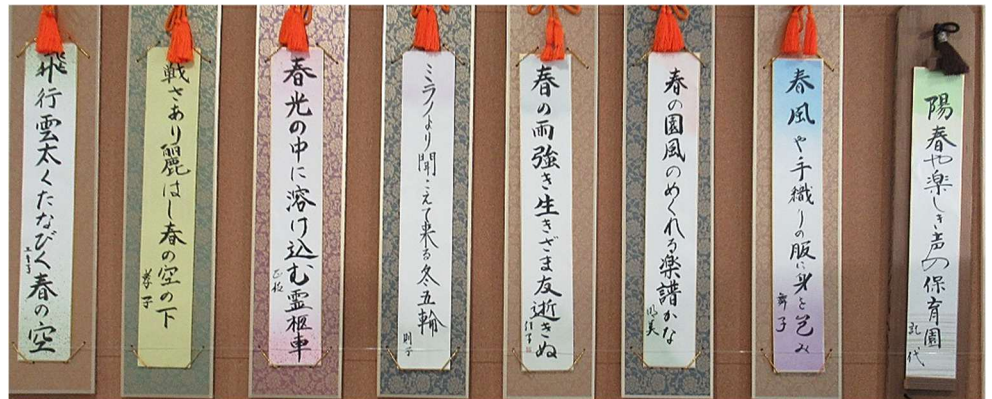
▽俳句教室の皆さんの作品。

句会は毎月第1月曜日9時30分から始まります



↑書：西谷澄子さん

吉川地域センター  
ロビー展



＜書道教室の皆さんの作品です。教室は毎月第2・4月曜日午後1時半から始まります。お題 桜＞

## 令和8年4月 吉川地域センター 講座他予定表

| 日曜日                | 月曜日                     | 火曜日                | 水曜日                        | 木曜日                | 金曜日                   | 土曜日              |
|--------------------|-------------------------|--------------------|----------------------------|--------------------|-----------------------|------------------|
| 開催日など変更となる場合があります。 |                         |                    | 1                          | 2<br>げんき塾          | 3<br>着物リフォーム<br>史跡保存会 | 4<br>空手          |
| 5<br>育成会           | 6<br>大正琴<br>俳句教室<br>拳志館 | 7<br>健康体操          | 8<br>施術体験会<br>琴の会<br>クラフ教室 | 9<br>げんき塾<br>ヨガ教室  | 10<br>着物リフォーム<br>カリ教室 | 11<br>空手         |
| 12                 | 13<br>書道教室              | 14<br>健康体操<br>編物教室 | 15<br>三弦の会                 | 16<br>げんき塾<br>ヨガ教室 | 17<br>育成会<br>農地水部会    | 18<br>全役員会<br>空手 |
| 19                 | 20<br>大正琴               | 21<br>健康体操<br>編物教室 | 22<br>琴の会                  | 21<br>げんき塾<br>ヨガ教室 | 24<br>着物リフォーム<br>カリ教室 | 25<br>空手         |
| 26                 | 27<br>バランスポール<br>書道教室   | 28<br>健康体操         | 29                         | 30<br>げんき塾<br>ヨガ教室 |                       |                  |

動なども話し合いグループごとに発表しました。

参加者から、地域開発が慌しく特に騒音・交通渋滞がひどくなっている。少子高齢化と定年年齢延長などで地域を担っていただく方がいない。行事が開催できなくなって地域コミュニティが低下しているが、地域行事の維持・新たな住

民を迎えた時の心構え・助け合い継続などの意見がありました。これからのまちづくりと農業中心のまちとの調和(融合)が今後の大きな課題になっているとの意見もありました。話し合われた内容は社協が取りまとめ地域に返していくこととなりました。